

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成31年3月28日 (2019.3.28)

【公開番号】特開2017-147421(P2017-147421A)

【公開日】平成29年8月24日 (2017.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2017-032

【出願番号】特願2016-30463(P2016-30463)

【国際特許分類】

H 0 5 K 3/46 (2006.01)

C 0 9 J 7/20 (2018.01)

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

C 0 9 J 11/06 (2006.01)

C 0 9 J 161/04 (2006.01)

B 3 2 B 27/38 (2006.01)

B 3 2 B 27/42 (2006.01)

B 3 2 B 27/20 (2006.01)

H 0 5 K 1/03 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 K 3/46 T

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 11/04

C 0 9 J 11/06

C 0 9 J 161/04

B 3 2 B 27/38

B 3 2 B 27/42 1 0 1

B 3 2 B 27/20 Z

H 0 5 K 3/46 B

H 0 5 K 1/03 6 1 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) シアネート樹脂、(b) エポキシ樹脂、(c) 脂環式構造を含有するフェノキシ樹脂及び(d) 無機充填材を含有する樹脂組成物であって、該樹脂組成物中における、(a) シアネート樹脂と(b) エポキシ樹脂との質量比 [(a) / (b)] が 0 . 2 ~ 2 . 5 である、樹脂組成物。

【請求項 2】

さらに、(e) ジシアンジアミドを含有する、請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

さらに、(f) フェノール化合物を含有する、請求項 1 又は 2 に記載の樹脂組成物。

【請求項 4】

さらに、有機金属塩、イミダゾール化合物、リン系硬化促進剤及びアミン系硬化促進剤から選ばれる１種以上の（g）硬化促進剤を含有する、請求項１～３のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

【請求項５】

（c）脂環式構造を含有するフェノキシ樹脂が、テルペン構造及びトリメチルシクロヘキサン構造から選ばれる１種以上を含有し、その重量平均分子量が２０００～１００００である、請求項１～４のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

【請求項６】

さらに、（h）シロキサン骨格を有する樹脂を含有する、請求項１～５のいずれか１項に記載の樹脂組成物。

【請求項７】

支持体、接着補助層及び層間絶縁層用樹脂組成物層をこの順に有する層間絶縁層用樹脂フィルムであって、

前記層間絶縁層用樹脂組成物層が、請求項１～６のいずれか１項に記載の樹脂組成物を含有する層である、層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項８】

前記接着補助層が、（i）シアネート樹脂及び（j）エポキシ樹脂を含有する接着補助層用樹脂組成物を含有する、請求項７に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項９】

前記接着補助層用樹脂組成物が、さらに、（k）比表面積が $20\text{ m}^2/\text{g}$ 以上の無機充填材、（m）ポリブタジエン骨格を含有するポリアミド樹脂、（n）脂環式構造を含有するフェノキシ樹脂からなる群から選択される１種以上を含有する、請求項８に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項１０】

前記接着補助層の厚さが $1\sim10\text{ }\mu\text{m}$ 、前記層間絶縁層用樹脂組成物層の厚さが $10\sim100\text{ }\mu\text{m}$ 、前記支持体の厚さが $10\sim120\text{ }\mu\text{m}$ である、請求項７～９のいずれか１項に記載の層間絶縁層用樹脂フィルム。

【請求項１１】

請求項１～６のいずれか１項に記載の樹脂組成物の硬化物又は請求項７～１０のいずれか１項に記載の層間絶縁層用樹脂フィルムが有する接着補助層及び層間絶縁層用樹脂組成物層の硬化物を含む、多層プリント配線板。